

あたらしくはいった本 (平成31年3月 貸出開始資料から)

●小説 魔眼の匣の殺人(今村昌弘/著) 姑の遺品整理は、迷惑です(垣谷美雨/著) 家康に訊け(加藤廣/著) 人工知能(幸田真音/著) 瞳のなかの幸福(小手鞠るい/著) うちのレシピ(瀧羽麻子/著) ザ・ウォール(堂場瞬一/著) ノースライト(横山秀夫/著) エスケープ・トレイン(熊谷達也/著) 生まれ変わり(ケン・リュウ/著)

●随筆・詩などの文学 文豪お墓まいり記(山崎ナオコ/著) 森遊びの日々(森博嗣/著) 違和感のススメ(松尾貴史/著) いつも歌があった(南こうせつ/著) クイーン詩集(クイーン/著) 高濱虚子(水原秋櫻子/著)

●その他の本 ペットボトルと空き容器で作るレトロ家電とミニ雑貨(宮市稔子/著) ナチスから図書館を守った人たち(デイヴィッド・E.フィッシュマン/著) 生活者の平成30年史(博報堂生活総合研究所/著) 60歳からの働き方で、もらえる年金がこんなに変わる(奥野文夫/著) 都会暮らしから始める道草料理術(大海勝子/著)



『魔眼の匣の殺人』
今村昌弘/著
東京創元社



『姑の遺品整理は、迷惑です』
垣谷美雨/著
双葉社



『家康に訊け』
加藤廣/著
新潮社

みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

としょかんカレンダー

令和 元年	日	月	火	水	木	金	土
5	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

古と平成のハーモニー——万葉フォーラムの開催

平成4(1992)年5月、太宰府では初めて「万葉フォーラム」が開催されます。この年は市制施行10周年という節目に当たり、太宰府市の記念事業のひとつとして計画されました。この時フォーラム自体の開催は3回目、万葉集ゆかりの高岡市から大阪市、そして太宰府市へと持ち回りで開かれており、5月25日から27日の3日間、1日目にはフォーラムと「万葉の宴」が、2日目にはバスハイク、最終日には、万葉集研究の第一人者による解説をラジオで聞きながら市内を巡る「万葉ウォーク」が行われ、「万葉新発見」をテーマに全国各地から研究者や多くの万葉ファンが集いました。

さまざまな催しの中でもひとときわ鮮やかだったのが「万葉の宴」です。会場の大観荘(筑紫野市)では飛鳥・奈良・平安三時代の衣装をまとった、平成人々による古代ファッションショーが行われ、大伴旅人ら万葉歌人が喫したであろう食膳を再現した、赤米や草餅・フナずしなど15品目の古代食が参加者に振る舞われました。万葉集に登場する「梅花の宴」を今によみがえらせ1300年の時に思いをはせようという演出で、前年に大宰府展示館で開催された「梅花の宴——遠の朝



～公文書館だより⑥～

延の食と衣」展(『都府楼』第11号)の成果でもありました。市制施行10周年のタイミングで、すでに始まっていた市史編さん事業でも初巻の刊行が計画されます。この年から『太宰府市史 考古資料編』を皮切りに、平成17年にかけて全13巻14冊が刊行されました。

太宰府市公文書館 藤田 理子

『太宰府市史』には、新元号「令和」の出版「万葉集」の解説が載っています。「梅花の宴」について詳しくお知りになりたい人は、この機会にぜひお求めください。

◎「梅花の宴」を詳しく知りた
い場合は「太宰府市史 通史
編1」

◎「梅花の宴」の原文および注
釈を調べたい場合は「太宰府
市史 古代資料編」

◎「万葉集」の中で、大宰府で
詠まれた歌を調べたい場合は
「太宰府市史 文芸資料編」

販売価格

1冊5千円

(郵送の場合は送料実
費が別に必要です)

問い合わせ

太宰府市公文書館

☎(921) 2322